

武庫庄



令和7年12月18日

心に響いたハーモニー

先日は、お忙しい中、校内音楽会にご来校いただき、誠にありがとうございました。

子どもたちがこの日のために心を一つにして練習を重ねてきた成果を、会場にお集まりの皆様にお届けすることができました。

練習が始まった頃は、なかなか声が揃わなかったり、パートごとの息が合わなかったりした学年もありました。しかし、日を追うごとに、互いに教え合い、励まし合う姿が見られ、「最高の演奏にしたい！」という強い思いが、子どもたちを大きく成長させました。

本番では、どの学年の合唱・合奏も、練習の時を上回る素晴らしい感動を与えてくれました。緊張の中でも堂々と演奏する姿、友だちと音を合わせるために真剣な眼差し、そして演奏後に見せた達成感に満ちた笑顔は、私たち教職員にとっても忘れられない光景です。

音楽会で培った「力を合わせる大切さ」「一つの目標に向かって努力する素晴らしさ」を、これからの学習や生活に活かし、さらに大きく羽ばたいてくれることを期待しています。

改めて、温かい拍手をありがとうございました。

【学力向上担当より】

令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

1 1校・市・全国の平均正答率の比較

令和7年4月に全国の小6と中3を対象とした

「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

本校の結果等について、報告します。

武庫庄小6年生は、調査のあった国語(左)、算数(右)の2教科ともに、全国の平均を上回る結果でした。

	国語	算数
本校 平均正答率	77	69
全国 平均正答率	66.8	64
平均正答率の差	+10.2	+5

2 2校の課題に対する改善策

〈国語〉

全ての問題において、全国、県平均の正答率を上回ることができています。選択肢があるものについては特に正答率が高いのですが、条件のある文(資料や図、情報を活用する、字数の制限がある、キーワードを使用するなど)を書いたり、自分の考えが伝わるように自分で文章を構成したりする力には課題が見られました。

そこで本校では、国語科だけではなく様々な学習活動の中で【必要な情報を自分で選び、それを用いて自分の考えを豊かに表現する取り組み】を進めてまいります。具体的には、図表やグラフなどの資料を適切に使いながら説得力のある文章を書いたり、相手に伝わるように順序などの文章の組み立てを考えたりする活動を日常的に取り入れていきます。また、必要な情報を得るだけではなく、それらの出所を調べて信憑性について考えることで、説得力のある文を書くことを目指します。

〈算数〉

全体的に全国平均や県平均を上回っていますが、展開図、体積など、図形に関する正答率に課題が見られました。また、選択肢があるものは正答率が高いのですが、記述式(答えにたどりつくまでの過程と自分の思考の流れを説明する)の問題に課題が見られます。そこで本校では、【わかりやすく話す・書く力を高める取り組み】を進めてまいります。算数科の授業においては、授業の中で説明し合ったり、話し合ったりする活動を日常的に取り入れて、思考の整理や解き方における論理的思考の習得を目指します。また、1人でじっくりと課題に向き合い、思考する時間も確保し、人任せにしないで自分なりに答えを導き出すことにも挑戦させたいと考えています。また、あらゆる教科の学習の中で、自分の考えを、理由や根拠を交えて、順序立てて人に分かりやすく伝える経験を積み重ねていきます。

〈全体的に〉

質問紙の回答を見ると、人と違う意見を持っていることを不安に感じている子が多かったり、友だちの意見を聴くことを楽しいと感じられていない児童がいたりします。どの学年でも、自分の思いや考えを安心して発言できる学級の雰囲気をつくっていくことに、子どもと教員と一緒に取り組んでいきます。子どもの思いを大切に、学級づくりや授業づくりの主役は自分たちであるという自覚を持たせ、主体的に考えて行動できる子を育てていけるよう、取り組んでいきます。よって、児童が学ぶ楽しさを感じながら学ぶ意欲を高め、学習や生活の中で様々な形で【人と関わり合う力】を伸ばさせていける取り組みを進めていきます。何事も人任せにせず、自分の考えをしっかりと持ち、友達と互いの考えを伝え合いながら試行錯誤を繰り返し、問題解決に向けて取り組んでいく、【学び合える集団づくり】を学校全体で目指していきます。